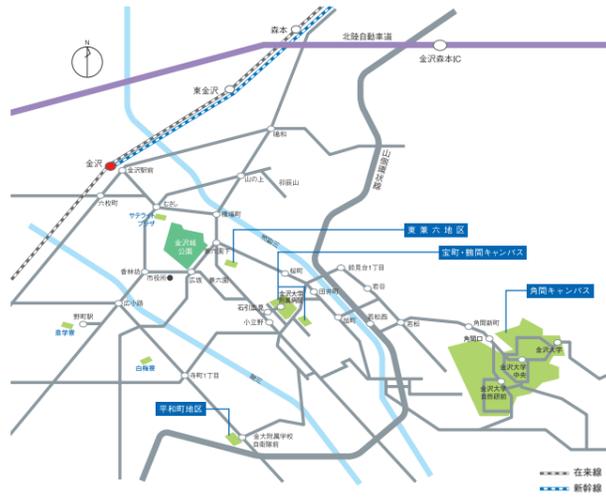


Access

■金沢大学角間キャンパス所在略図



【金沢駅から主要キャンパスへのアクセス】

〈北陸鉄道バス利用の場合〉

■角間キャンパス

「金沢大学自然研前」,「金沢大学中央」,「金沢大学(角間)」まで
…所要約34~37分

○金沢駅東口⑥乗場→91,93,94,97「金沢大学(角間)」行

■金沢大学角間キャンパス案内図



環境保全センター関連年表

1973. 4	全学共用の廃液処理施設を宝町キャンパス内に設置	2007. 3	環境保全センター内に環境調査チーム発足
1980. 6	環境保全センターを工学部キャンパス内に設置	2008. 1	金沢大学における化学物質の管理に関する細則制定
1984. 2	金沢大学における薬品類の廃棄物の処理に関する規程等制定	2009. 1	金沢大学における廃棄物の管理に関する細則制定
1984. 3	薬品類の廃棄物の処理に関する手引書発行	2011. 10	金沢市より「いいね金沢環境活動賞」受賞
1987. 7	大学等廃棄物処理協議会第3回廃棄物処理技術分科会開催	2011. 11	環境保全センター30周年記念式典開催(11/2)
2000. 6	環境保全センター20周年記念式典開催(6/16)	2013. 11	第29回大学等環境安全協議会技術分科会開催
2002. 4	金沢大学化学物質管理システム試験運用開始	2014. 4	環境マネジメント委員会設置
2004. 6	角間II団地に移転(建物及び処理装置の新設)	2014. 9	有機系実験廃液処理装置稼働中止(老朽化のため)
2004. 7	第20回大学等環境安全協議会技術分科会開催	2016. 10	有機系廃液委託処理化開始
2007. 1	環境管理規程制定	2016. 11	金沢市より「いいね金沢環境活動賞」(個人の部)受賞
2007. 1	環境委員会設置	2017. 4	無機系実験廃液処理装置稼働停止、委託処理化開始

金沢大学環境保全センター概要

発行 平成29年7月

〒920-1192 金沢市角間町
Tel (076)234-6893 Fax (076)234-6895
E-mail kanho@se.kanazawa-u.ac.jp
URL <http://hozen2.epc.kanazawa-u.ac.jp/>



再生紙を使用しています。

金沢大学 環境保全センター 概要



金沢大学環境保全センターとは

学内共同教育研究施設として環境保全に関する教育・研究を行うとともに、教育・研究・医療等の活動に伴う環境汚染(放射性物質に係るものを除く)を防止し、もって環境の保全を図ることを目的として、下記の活動を行っています。

1. 環境保全に関する調査・研究
2. 環境保全に関する教育・訓練に係る査察、勧告、指導、啓発
3. 有害廃棄物の処理状況の把握等

Outline of Environment Preservation Center,
Kanazawa University

設置経緯

環境保全センターは、昭和48年に全学共用の廃液処理施設を宝町キャンパスに設置したことに始まります。昭和55年に人員の配置並びに処理装置・機器の整備を行い、昭和56年より学内共同利用施設として旧小立野キャンパスで正式に稼働を開始しました。平成15年には体制の見直しが行われ学内共同教育研究施設となり、平成16年の角間キャンパス南地区への移転に伴い処理装置を全面更新しました。その後10年以上にわたり学内から排出される実験系廃液の処理を担ってきましたが、処理装置の老朽化を契機に廃液処理業務の一層の効率化を図るため、平成29年4月からは廃液処理の全面的な外部委託化を開始し、現在に至ります。

主な活動

① 環境保全に関する調査・研究

- 科研費等を活用して、環境保全に関する調査研究を実施する。

② 環境保全に関する教育・訓練に係る査察、勧告、指導、啓発

- 環境保全に関する学内での教育を実施し、また、その強化に向けた活動を推進する。
- 環境調査チームにより、化学物質管理等環境管理に関する実態調査、環境マネジメントシステムの評価、環境管理に関する目標達成度の評価等を行い、環境管理に関する助言・要望・勧告等を行う。
- 金沢大学における化学物質の管理に関する細則に基づき、化学物質管理講習会等の環境保全に関する講習会、研修会を開催する。

③ 有害物質に係る廃棄物の処理状況の把握

- 化学物質管理システムを運用し、化学物質の適正な管理と廃棄を推進する。

④ 廃液処理施設の管理運営

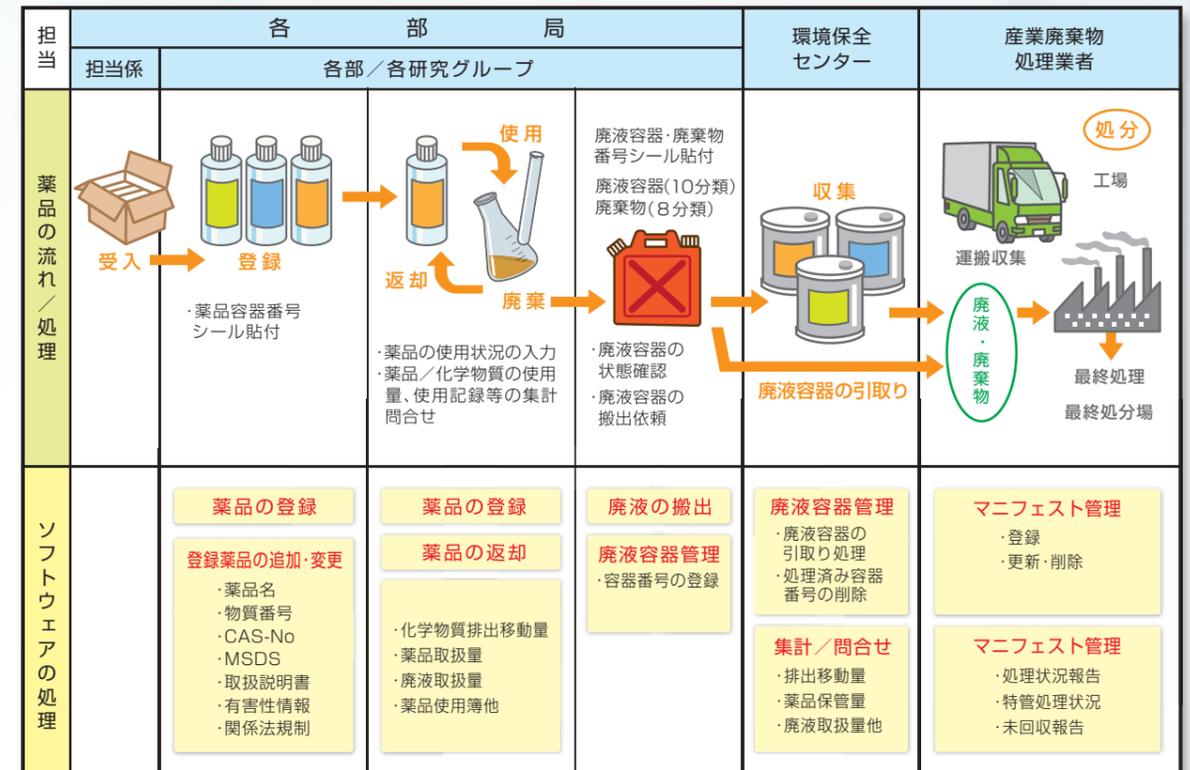
- 金沢大学から排出される実験系廃液等の収集に係る業務支援を行う。
- センターのノウハウを活用して、実験系廃液処理等に関する技術支援を行う。

⑤ その他センターの目的を達成するために必要な業務

- 地域の環境美化や環境に関する体験学習の受け入れ等、環境に関する地域貢献活動を推進する。

化学物質管理システムについて

化学物質管理システム処理フロー図



● 目的

金沢大学内で使用する化学物質の適正な管理と使用量・排出量の管理の向上を目的とする。

● システム概要

● 化学物質管理システム

化学物質の購入後から廃棄までを学内LANとパソコンを用いて管理するシステム。
(上記フロー図参照)

● 化学物質管理システム対象化学物質(薬品類)

金沢大学で取扱う全薬品・化学物質(新規購入、在庫品、合成品など、固体、液体、気体を含む)容器毎に登録管理する。
ただし、医薬品、放射性物質等は除く。

● 研究グループ

- ・ 金沢大学で化学物質を取扱う全研究グループ及び全部署。
- ・ 化学薬品を管理しているグループ毎に登録する。
(グループ内で登録保管している薬品などのみが使用できる)